

# 救急集中治療医学



## I. はじめに（概要、教育理念、特色等）

救急集中治療部は救急集中治療医学講座の開設に伴い、2003年4月に closed policy を導入しました。closed policy とは集中治療専門医、専従医が中心となり治療方針を決定するICUの運営形態で、この実践により重症患者の予後が改善する事が知られています。当施設は closed policy を実践している日本では数少ない施設です。当施設でも closed policy 導入以来、重症患者の治療成績は向上しています。

重症患者では傷害が単一の臓器にとどまらず、全身に様々な問題が起こります。そのような患者の治療には、呼吸循環管理、腎代替療法、栄養管理や感染症対策など総合的な能力が必要とされます。本プログラムでは、急性期重症患者の全身管理が出来る集中治療専門医の育成を目指しています。

## II. 専門研修プログラム

### ①各専門研修コースの概要、取得できる専門医

救急科・麻酔科専門医取得後より2年間、それ以外の基本領域専門医取得後より3年間の集中治療専門研修プログラムになる予定です。当施設は日本集中治療医学会専門医研修施設であり、本プログラム終了後に集中治療専門医の取得が可能です。

重症患者の病態を理解し、呼吸循環管理や腎代替療法、栄養管理、感染症対策などの集中治療に必要な専門知識・技術を身につけます。交流のある他大学の救急・集中治療医学教室での研修も可能です。

入局後年数	卒後年数	身 分	研修内容	資 格 等
1	3	大学病院医員	専門研修	
2～3	4～5	大学病院医員(助教) または関連病院医員	専門研修	専門医機構認定・救急科専門医取得
4～5	6～7	大学病院医員(助教) または関連病院医員	専門研修	専門医機構認定・集中治療科専門医取得
8～	8～	大学病院スタッフ 関連病院スタッフ	研修指導 専門診療研究・留学	学位取得など

## ②大学病院での専門研修週間スケジュール

毎朝モーニングカンファレンスおよび病棟回診を行い、患者の病態や問題点を明らかにし、治療法について議論します。日中は決定した方針に基づき、その日の検査・画像所見を確認しながら各患者の治療を行います。週1回症例検討会を行っており、1週間の経過を踏まえて全体的な目標や方針について討論します。この研修中に人工呼吸管理、補助循環、腎代替療法などの理論や技術を学びます。月6回程度の夜勤業務で急変患者の受け入れを経験する事により、急性期の初期対応が身に付きます。勤務は担当制の二交代制で時間外の呼び出しがなく、時間を比較的自由に使うことができます。

上記以外に、毎週臨床論文の抄読会を行っています。最近の集中治療領域の話題から自分の興味のある論文を選び、要約して発表する事により、最新の研究結果の理解のみならず、論文読解力の向上を目指します。また月1回M & Mカンファレンスを行っています。症例を通して部門全体の診療レベル向上に必要なカンファレンスと位置づけています。

## ③研究・大学院

専門研修中は診療と並行して研究を行います。研究成果は、国内外の学会で発表、医学雑誌への投稿を通して社会に発信します。毎月リサーチカンファレンスを開催し、各人の研究の進捗状況の確認と助言を行っています。

希望者は専門研修中に本学の大学院進学を選択できます。博士論文を提出し、学位審査を受けることにより医学博士取得を目指します。

## ④研修関連病院一覧（学会認定の有無）

当施設は、日本集中治療医学会、日本救急医学会、日本呼吸療法学会認定の専門医研修施設です。専門研修期間中に徳島県立中央病院、三好病院、徳島赤十字病院、札幌東徳洲会病院、田岡病院のERでの研修も可能です。

## ⑤国内外への臨床・研究留学

アメリカのボストンにある世界有数の総合病院かつ研究機関である Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School への研究留学により、人工呼吸や気道管理等の研究を行い、多くの実績を残しています。

# Ⅲ. 教育指導体制

## ①指導スタッフ一覧表（氏名、役職、専門領域、資格ほか）

特任教授1名、助教（特任助教含む）5名の計6名のスタッフが指導に当たります。

氏名	役職	専門領域	資格ほか
大藤 純	ER・災害医療診療部教授、部長 救急集中治療部・部長	救急医学、集中治療医学、人工呼吸管理	集中治療専門医、呼吸療法専門医 救急科専門医 麻酔科専門医および指導医
板垣 大雅	助教、副部長	集中治療医学	集中治療専門医、呼吸療法専門医 麻酔科専門医および指導医
網野祐美子	助教	集中治療医学	集中治療専門医
田根なつ紀	助教	救急医学、集中治療医学	集中治療専門医 救急科専門医 認定内科医
中西 信人	助教	救急医学、集中治療医学	救急科専門医
上野 義豊	助教	救急医学、集中治療医学	
高島 拓也	医員	救急医学、集中治療医学	

## ②診療内容・診療実績

集学治療病棟に11床のICU、11床のハイケア治療室（HCU）を備えています。心臓血管外科や肝腎移植などの大手術、合併症を有する患者の術後管理、院内の重症患者の治療を行っています。院外からは脳卒中、急性冠症候群、重症熱傷、薬物中毒、心肺停止患者を受け入れています。特に重症熱傷の診療を行っているのは県内では当院のみです。また、隣接する徳島県立中央病院からも重症患者の受け入れを行っています。専従医師が中心となり、各診療科の主治医と協議しながら診療を行っています。

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
ICU 入室患者総数	449	431	411	471	515
心臓血管外科	123	100	101	100	62
脳外科	81	78	57	76	76
外科	111	122	110	150	167
内科	107	98	99	103	149
その他	27	33	44	42	61
HCU 入室患者総数	1,964	1,895	1,798	1,741	1,811
心臓血管外科	199	160	194	155	99
脳外科	437	390	266	237	283
外科	932	964	1,004	976	1,111
内科	356	339	283	311	255
その他	40	42	51	62	63
SCU 入室患者総数	362	394	325	332	348

### ドクターヘリ搬送

	2015	2016	2017	2018
ICU	2	8	8	1
SCU	7	7	8	4
HCU	4	8	2	3
合計	13	23	18	8

### 徳島県立中央病院からの転院

	2015	2016	2017	2018
ICU	23	23	18	17
SCU	17	14	22	8
HCU	23	17	15	17
合計	63	54	55	42

## ③研究内容

当講座では、臨床に直結する研究をすすめています。人工呼吸をはじめとする呼吸管理と感染制御が主な研究テーマです。

人工呼吸については、呼吸仕事量をいかに少なく管理し、患者にとって快適な呼吸補助を行うか、人工呼吸の循環器系への影響をいかに抑えるか、医原性肺損傷を防ぐ人工呼吸方法、人工呼吸中の鎮静と睡眠の質などの研究を行っています。感染制御については、集中治療領域で特に問題となるカテーテル関連血流感染を減少させる研究や、人工呼吸器関連肺炎の治療有効性評価に関する研究を行っています。

## ④同門会、病診連携組織

2018年度に救急集中治療医学講座開講15周年を迎えました。開講からの歴史は長くありませんが、これまで多くの国内留学および研修希望の医師を受け入れてきました。現在は救急、集中治療医学にとどまらず、様々な施設・専門分野で活躍しており、今でも交流は続いています。

当施設は徳島県で唯一の集中治療専門医研修施設であり、多くの専門医が在籍しています。隣接する徳島県立中央病院の集中治療室にも当講座の専門医が常駐しています。

## IV. メッセージ

救急医・集中治療専門医は、あらゆる疾患に対応できる知識・診断能力・治療技術が必要です。このような技量を持つ専門医、専従医がいることで急性期医療の質が維持できます。広い知識を持つ「総合医」としての要素と、急性期医療に精通した「専門医」としての要素が必要とされる部門です。徳島大学病院救急集中治療医学講座では、そのような高い意志を持つ人達を歓迎します。

## V. 連絡先

- ・担当者氏名：大藤 純
- ・TEL：088－633－9347
- ・FAX：088－633－9339
- ・E-mail：joto@tokushima-u.ac.jp
- ・ウェブサイト URL：http://www.tuh-ericu.org/